

# 受話器の向こうに 現場がある

西元 ひとみ

野口興産(株)



## 家庭も仕事も

結婚後、子育てをしながら建築事務関係の仕事についていました。そこが閉所することになり、当社に応募しました。当社を選んだのは自宅から近かったから。志望の動機は消去法ですが、家庭を大切にしたいという思いが強かったこともあります。

最初は取り扱う製品の多さに戸惑いました。似たような名前で、アルファベットや数字で見分けなければいけません。注文に対応するのに随分と時間を使っていました。

誰もが受注業務に追われていて、新人を教育する余裕はなさそうでしたから、自分から手伝いを買って出て、いわゆるOJTで仕事を覚えていきました。半年もすると落ち着いて対応できるようになり、お客様にも声を覚えていただきました。

## チームワークを育みながら

今年で入社19年です。働き続けられているのは、同年代の女性が多かったからだと思います。彼女たちがそれぞれ結婚、妊娠という人生の転換期を迎えた時、すでにそうした経験を持っていた私は、励まし、時には助け合って仕事を続けてきました。そうした付き合いが、いつしか仕事仲間という関係に留まらない、強い絆を育んだのではないのでしょうか。

その頃、当社の野口裕二社長から「女性社員が働きやすい環境を作り、レベルアップを目指して提案と改善をしていくような会を作ってほしい」と頼まれました。その気持ちに答えるため、「プログレスの会」を立ち上げて、会報を発行するなどして女性が元気に働き続けられる社内環境づくりに努めてきました。

## いつまでも勉強

最近、以前にお世話になったお客様の注文を見て、合っているのか気になって電話したら、案の定違っていました。受発注業務には少しブランクがあったのでそのことを伝えたら、「西元さんなら大丈夫。こうして指摘してくれたじゃない。自転車と同じで、ペダルをこぎ始めればすぐに身体が思い出すよ」と言われて嬉しかったですね。

電話で受注する際には、どんな現場なのだろうと想像することが大切です。

これからも感謝の心を忘れず、今以上にお客様のお役に立てるよう仕事を続けていきます。

西元 ひとみさん Hitomi Nishimoto

血液型：A型

星座：牡牛座

趣味：キャンプ・

ホームセンター巡り

出身：群馬県前橋市